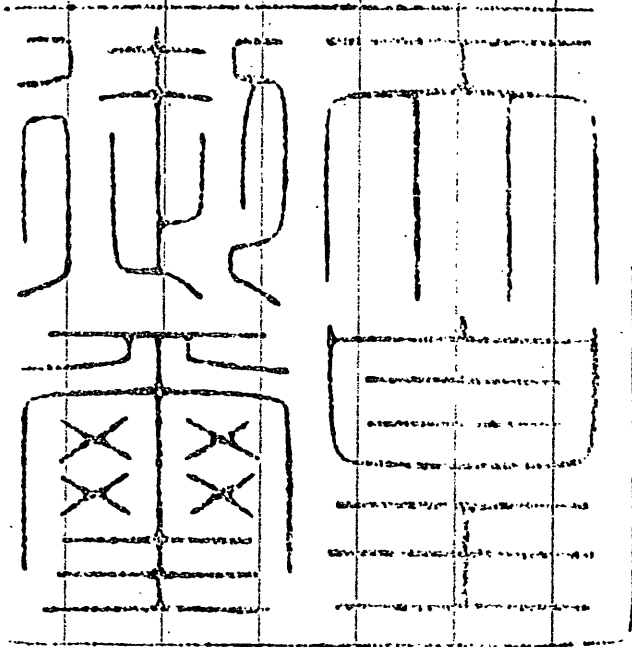


勅令第六百五十一號

朕地方引揚援護局官制ヲ裁可シ茲ニ
之ヲ公布セシム

裕仁



昭和二十年十一月二十二日

内
閣

援護官

援護官補

第三條 地方引揚援護局ハ第一條ノ事務ヲ行フニ付必要アルトキハ當該地方ニ於ケル關係各廳ニ對シ共助ヲ求ムルコトヲ得

第四條 地方引揚援護局長ハ當該地方引揚援護局ヲ管轄スル地方長官ヲ以テ之ニ充ツ厚生大臣ノ命ヲ承ク局務ヲ掌理ス
地方引揚援護局次長ハ地方引揚援護局長ヲ佐ク局務ヲ掌理ス

援護官ハ厚生部内高等官ヲ以テ之ニ充ツ上官ノ命ヲ承ク局務ヲ掌
ル

前項ノ外援護官ハ必要ニ應ジ關係各廳高等官ヲ以テ之ニ充ツルコ

トヲ得

援護官補ハ厚生部内判任官ヲ以テ之ニ充ツ上官ノ指揮ヲ承ク局務
ニ從事ス

前項ノ外援護官補ハ必要ニ應ジ關係各廳判任官ヲ以テ之ニ充ツル
コトヲ得

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

高等官官等俸給令中左ノ通改正ス

第八條中「厚生省研究所研究官」ノ次ニ「地方引揚援護局次長」ヲ、

第十四條中「國立健康保険療養所調劑官」ノ次ニ「地方引揚援護局

勅令第六百五十一號

次長ニテ加フ

別表第一表厚生省ノ部中國立少年教護院教諭院長タルモノノ項ノ次
ニ左ノ如ク加フ

地方引揚
援護局次長